

平成30年4月19日

阿賀野市議会議長 高橋幸信様

産業建設常任委員会委員長 浅間信一

### 所管事務調査報告書

本委員会は、平成30年第1回議会定例会において議決を経た、閉会中の所管事務調査を下記のとおり行ったので、会議規則第110条の規定により報告します。

#### 記

- 1 調査事項 瓢湖の現状について
- 2 調査期日 平成30年4月19日(木) 午前10時00分
- 3 調査経過

平成30年4月19日、逢坂産業建設部長、相馬商工観光課長、関公園管理事務所長、仁谷上下水道局長並びに担当職員の出席を求めて本委員会を開催し、調査事項について担当課長から説明を受けるとともに現地調査を行い、質疑、意見集約を行いました。

本視察では、瓢湖全体のにぎわいづくりには欠かせない瓢湖水きん公園内にある遊具エリアの現状も視察し、その比較対象として天朝山公園並びに緑岡第一公園の現状視察も行いました。

#### 4 調査結果

##### (1) 瓢湖（瓢湖水きん公園）

瓢湖の水面は、ハスの繁茂時期の前であるので水面が広く確保されており、大きな湖に見えた。枯れ残りのハスが散見されることがなく、水鳥が活動する水面は十分確保されているものと認識した。これは、昨年ハス刈りの成果であると考えられる。一方で、昨年の刈り取り時期は、ハスの花の満開時期に重なってしまい、ハスの花を楽しみにしていた観光客よりクレームがあったと聞いているが、本年度のハスの刈り取り時期については考慮すると担当課より回答があった。また、今後ハスの鑑賞は東新池を主体とする計画があり、そのため、東新池を一周する歩道の整備が現在行われている。

瓢湖水きん公園全体としては、利用者スペースと維持管理施設のスペースとが混

在しており、瓢湖の景観が損なわれていた。公園内には様々な建築物があるので、建物の目的、景観と管理作業効率性との両立を今一度整理し、さらに整備のための資材が観光客の目に触れるところに出ていたりしたので、作業資材等は公園利用者や観光客の目につかないところにしまうなどの配慮が必要である。

当日、瓢湖水きん公園には、小学生がスケッチを行っていたり、保育園児が植物・水中生物の説明を受けていたりしていた。校外教育の場としてもさらに利用者を増やして行ければよいと考える。

東新池の整備は進行中であり、歩道は6月頃から使用できるようになる。懸念事項としては、ハスが良く見え写真が撮れるようになっているのか、また、東新池は水きん公園の一番奥にあり、池周辺は背の高い草が茂り、東新池観察舎周辺も気味悪く、近づきがたいという声を聞くので、東新池へ足を延ばしてもらうための方策を今後協議していく必要がある。

観光客は目的地にて、名所を見て、写真を撮り、食事をしたりする他、少し休憩でお茶や軽食を取る。しかし瓢湖は昼食時、観光客はほとんど立ち寄らない。そこで、食事をするところや茶屋など軽食をする場所が必要である。湖畔に休憩所があるが、建物の外観など整備が必要である。

東新池の遊歩道が完成すれば、一周約2キロメートルの外周路ができる。そこで、レンタル自転車等を設置して、自転車でも周れるようにしてはどうか。

公園内の遊具は大小様々な物があり、市内の子どもたちの利用も多く、現時点での遊具の整備状況は良好である。

瓢湖水きん公園は、桜、あやめ、ハス、白鳥と一年を通じて楽しむことができる観光地であり、また市民の憩いの場である。白鳥や植物を見る他に、手軽に飲食できるようにすることで、さらに市内外からの利用者が増えると考えられる。

外国人観光客も増えていることから、今後は、公園内の案内看板も多言語化される。瓢湖水きん公園は、市内の観光地の拠点としても重要な機能を持っている。

## (2) 天朝山公園

公園内には木々や池、遊具、天朝山文化交流の家、矢倉があった。天朝山公園は、主に地域住民、園児、小・中・高校生等が利用している。視察時も地域住民が子どもや孫を連れて来ていた。現在、広場の芝を全面的に張り替えており、芝の生育は順調である。今後も継続して芝の保守をしていくということであった。

公園利用者用の駐車場は、国道49号沿いの水原商店街側に数台分設置してある。

天朝山文化交流の家の平成29年度の利用人数は2,125人であった。花見シーズンの使用や地域のコミュニティーセンターとしての使用の他、外国人が阿賀野市を訪れた際、市民団体が交流のために使用した実績がある。

### (3) 緑岡第一公園

住宅街の中心で周囲に幼稚園、保育所もあり、利用者が多い公園である。

この公園は遊具の他、広いグラウンドがある。地面のほとんどはクローバーに覆われているが、ところどころ株の強い雑草が生えている。草刈は年3回行われている。株の強い雑草を取り除き、一面クローバーにしてはどうかという意見が委員会内で出た。

遊具のエリアの砂場に水が溜まっている状態だった。現在、処置を進めている。

阿賀野市内にある公園数は98カ所。そのうち市の管理は35カ所であり、シルバー人材センターと造園業者へ管理を委託している。今年度の公園管理予算は約11,800千円である。

瓢湖は、阿賀野市観光においても特に重要な観光スポットであると同時に、まだまだ集客増が望める観光スポットである。瓢湖水きん公園を市内観光の拠点として一層発展させることは、阿賀野市全体の観光振興につながると考える。国の天然記念物ならび、自然の水鳥が飛来する鳥獣保護区であることに考慮しつつ、観光客をさらに呼び込むべく、今後も瓢湖水きん公園の状況を注視していく。また、機会を見て、市内のその他の公園の現状を調査していく。

以上、産業建設常任委員会の所管事務調査の委員長報告といたします。